

未来の科学のために
科学新聞サイエンスタイムス

Science Times

さあ、科学しよう！

自然界では 36 年ぶり！ トキのひなが誕生！

新潟県佐渡市でトキのひなが3羽見つかる

4月22日、トキのひなが1羽、そして23日にはさらに2羽のひなが見つけれられました。発見したのは環境省佐渡自然保護管事務所、トキの巣からおよそ40mはなれたところにあるビデオカメラがそのようすとらえました。自然の環境にいるトキのひなが誕生したのは、日本では36年ぶりのことです。

トキの歴史

トキは、コウノトリのなかまで、白い羽毛に、赤い顔、長いくちばしをもった鳥です。19世紀までは日本、中国、ロシアなど、東アジアの広いところで多く見られた鳥でした。

しかし、20世紀になると、その数は激減（げきげん）してしまい、現在では野生のトキが生息しているのは中国だけになってしまっています。

日本では、1981年に佐渡島に残されていたトキ5羽が最後の野生のトキとされています。この5羽はすべてつかまえられ、佐渡トキ保護センターで人の手によって安全に育てられることになりました。この時点で、日本では野生のトキが絶滅（ぜつめつ）したとされています。



photo by げんち & Hisagi

この5羽のトキのうち、最後に残された「キン」と名付けられたトキが2003年10月10日に死んでしまい、日本産のトキが絶滅しました。

そして、中国からトキをゆずりうけ、人の手で育てたヒナが大きくなったら自然に帰し、トキをふやすという取り組みが始められたのです。

こうして、自然のもとに帰されたトキが、無事に卵を産み、卵からかえったヒナが、今回発見されました。トキのためにがんばった人たちがたくさんいて、今回のとても素晴らしい結果につながったのです。

トキってどんな鳥？

トキの特徴（とくちょう）は、その長いくちばしにあります。長いくちばしを田んぼのどろの中にさしこみ、ドジョウやカエル、こん虫などを食べます。

トキの全身は白い羽毛でおおわれていて、長いくちばしの先と顔、あしはきれいな赤色をしています。

春～夏にかけて、卵を産む時期になると、トキの首のあたりから黒い液体が出ます。この液体をからだにぬりつけるため、頭から首すじにかけて黒っぽい色になります。

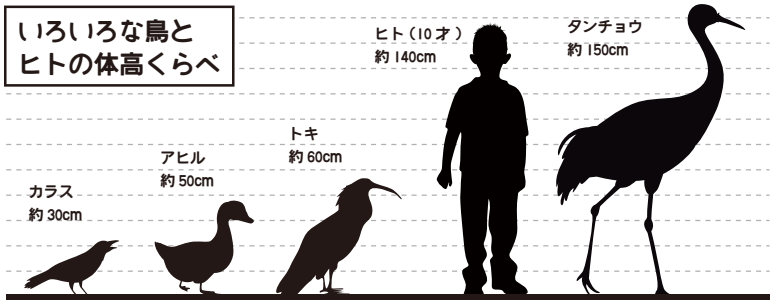
トキは、オスの方がメスよりも、体が大きい、くちばしが太いなどのちがいがありますが、色は同じです。

ニッポニア・ニッポン

トキの学名は「Nipponia nippon（ニッポニア・ニッポン）」です。まさに、日本の鳥というイメージの名前ですが、日本の国鳥はトキではなく、キジなので、まちがえないように注意しましょう。トキは新潟県の「県鳥」、新潟県佐渡市、石川県輪島市の「市の鳥」とされています。

日本の空を、トキが自由に飛べる日が来るように、みんなで自然豊かな環境を守っていきましょう。

いろいろな鳥とヒトの体高くらべ



カガククロスワード

科学にまつわるクロスワードで脳のトレーニング！
A～Eに入る言葉を順番にならべると何になるかな？

1		2	3	4	5
				B	
		6			
7	8			9	
	A				E
10			11		
		12		13	
					C
14					D

【タテのかぎ】

- 水にものをとがしてできた液体のこと。
- ナス科の植物で赤い果実ができる。上から読んで下から読んで同じ。
- 表の反対。
- 付け加える必要のないむだなもののこと。むかし、中国でへびの絵に足をかいたことからできた言葉。
- 地域の目印になる特徴（とくちょう）的なものこと。東京スカイツリーや東大寺、名古屋城などがこれ。
- 地球のまわりを回っている衛星（えいせい）。5月21日はこの星の影のおかげで金環日食が見える。
- もともとは仏教の言葉。「○○本願（ほんがん）」。
- メスの牛を英語で言うところ…。
- ハエのなかまで、動物の血をすう小さな虫。自然豊かなところに多く、さされるとチクッといたみ、かゆみも出る。



【ヨコのかぎ】

- タラのなかま。この魚の卵巣（らんそう）でたらこが作られる。「メンタイ」とよばれることもあり、ここから「めんたいこ」の名前がつけられた。
- 長いきりを走る陸上競技のこと。オリンピックの種目の1つで、人気がある。
- 帆（ほ）に風を受けて進む船。レースに使われることもある。
- かまどのこと、漢字で書くと「竈」。
- 水面にうかべて、目印にするためのもの。つりをするときによく使われる。
- トナカイの別名。シカのなかまで、オス、メスともに角がある。12月にはサンタクロースといっしょにプレゼントを運ぶことで有名な動物。
- 物事をつきつめてきわめること。



photo by National Oceanic and Atmospheric Administration

世界は広い！ いっぱいあるぞ！

今月の世界○○コーナー

◆世界で最も甘い物質

世界で最も甘い物質は、ラグドゥネームです（2010年調べによる）。計算上で、同じ量の砂糖とくらべると22～30万倍の甘さがあります。ラグドゥネームは、1996年にリヨン大学が合成した物質です。まだ食用として使うことはみとめられていませんが、たった1mgのラグドゥネームは、大きなビンいっぱいの砂糖と同じくらいと同じ甘さを出します。

◆世界で最も苦い物質

世界で最も苦い物質は、安息香酸（あんそくこうさん）デナトニウムです。あまり聞いたことのない名前かもしれませんが、私たちの身の回りでよく使われている物質です。使われているといっても、食用ではありません。その強い苦みから、人がまちがって飲みこまないようにするために、色々なものにふくまれています。殺虫剤（さっちゅうざい）や洗剤、工業用のアルコール、おもちゃの小さな部品、カメラや携帯電話に入れるSDカードの表面などで使われています。

◆世界で最も辛いトウガラシ

世界で最も辛いトウガラシは、オーストラリアで収穫される「トリニダード・スコピオン・ブッチ・テイラー」です。辛さを示す単位のスコヴィルで表すと、ハラペーニョで2,500～5,000スコヴィル、最も辛いタバスコで30,000スコヴィルですが、このトウガラシはなんと146,370スコヴィルです。あまりの辛さに、全身防護服を着ないとソースが作れないそうです…

動植物探検隊

身の回りの自然を見つけよう！



～母の日の花「カーネーション」～

日本では、5月の第2日曜日が「母の日」です。カーネーションは、母の日におくる花として有名で、この時期になると、花屋さんでとてもよく見かけられるようになります。

カーネーションはナデシコ科の花で、オランダナデシコ、ジャコウナデシコとよばれることもあります。もともとは地中海で生えていた花で、17世紀ごろにイギリスやオランダでたくさん栽培（さいばい）されるようになりました。5～7月ごろに花がさき、花の色は赤、ピンク、黄、オレンジ、青、白など、たくさんの種類があります。

ところで、なぜ母の日にカーネーションをおくるのでしょうか？
これにはいろいろな理由がありますが、そのうちの1つをしょうかいしましょう。

キリスト教の伝説では、キリストが十字架（じゅうじか）にかけられたときに、聖母マリアが落とした涙（なみだ）のあとに、カーネーションが生えたとされています。ここから、カーネーションは「母の愛」の象徴（しょうちゆう）として考えられるようになり、母の日にカーネーションがおくられるようになったとされています。

みなさんも、日ごろの感謝（かんしゃ）をあらわして、カーネーションをおくってみませんか？



カーネーションの花

優学習会

ホームページ <http://www.suguru.jp>